

鄯善國の  
所在

納穀は、郷約(長村)の處に集め、郷約更に縣庫に納む。其他雜貨牲口等價を按じ、大凡一兩に對して五分を課税す。

關展城は乾隆中の創設に係れり。其の此に鄯善縣を置くもの、蓋し舊鄯善國の首府なりしに因りて然るに非らず(鄯善國の盛時威令此に及びしものならん歟)。其の鄯善國は、蓋し今の羅布淖爾の東南方に當るべし。史を按ずるに、鄯善本名樓蘭、漢の昭帝元鳳四年(紀元前七十九年)始めて鄯善と稱すと。唐書地理志に「鄯善は蒲昌海の南三百里に在り」西域記に「玉門陽關を出づれば鄯善に涉り、北は伊吾に通ずる千餘里、是れ其の西域の門戶、即ち蒲昌海以東皆其の地」西域記に「于闐東行流沙に入る。沙磧流漫、行人路に迷ひ、指す所を知る無し、行く四百餘里、覩貨羅故國に至り、夫れより東行六百餘里、折摩馱那故國に達す。即ち沮末城とす。城郭歸然、人烟斷絶、尙ほ東に進む千餘里、納縛波國、所謂樓蘭に到る。此の國沙磧二千里、國久しく空蕪、今何に在るを知らず」と。

憶昔樓蘭崛起秋

胡人萬馬牧涼州

我今來訪當年跡

落日荒烟照古丘